

コンテナ苗秋植栽定着試験 2年目調査結果

1 調査概要

池田町森林整備計画実行管理推進チーム（以下、チーム）の現地検討会として苗木の毎木調査を平成29年11月8日に実施した。調査項目は根元径、苗長、被害有無とした。

2 除雪試験結果モニタリング

健全木比率を除雪区と対照区で比較したところ、下図の通りとなった。

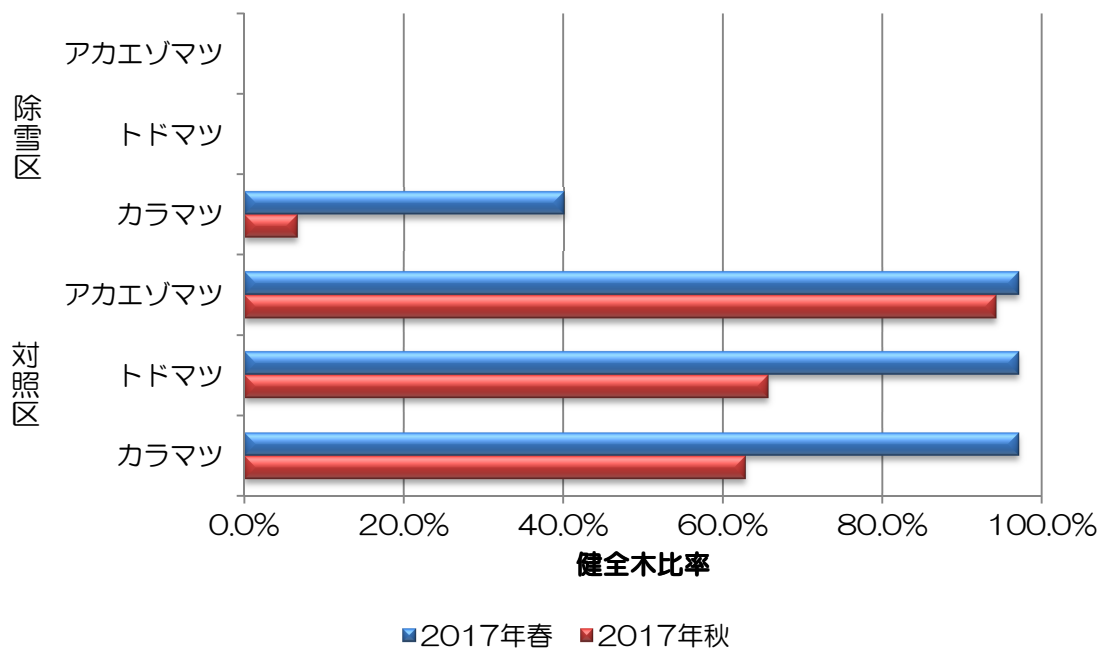


図1 健全木比率の推移

除雪区においてカラマツの健全木比率が激減した。春の時点ではカラマツの開葉が見られなかったため、土壌凍結による被害が確認できなかった。春以降の現場観察で一度も開葉しなかったことから、今回の調査で土壌凍結の影響が確認できたものと考えられる。一方で対照区（除雪していない区域）においては、カラマツ及びトドマツで健全木比率が減少した。下層植生密度が高かったことから、下刈時の誤伐や夏場の蒸れによる影響が考えられる。

3 健全木の成長量調査結果

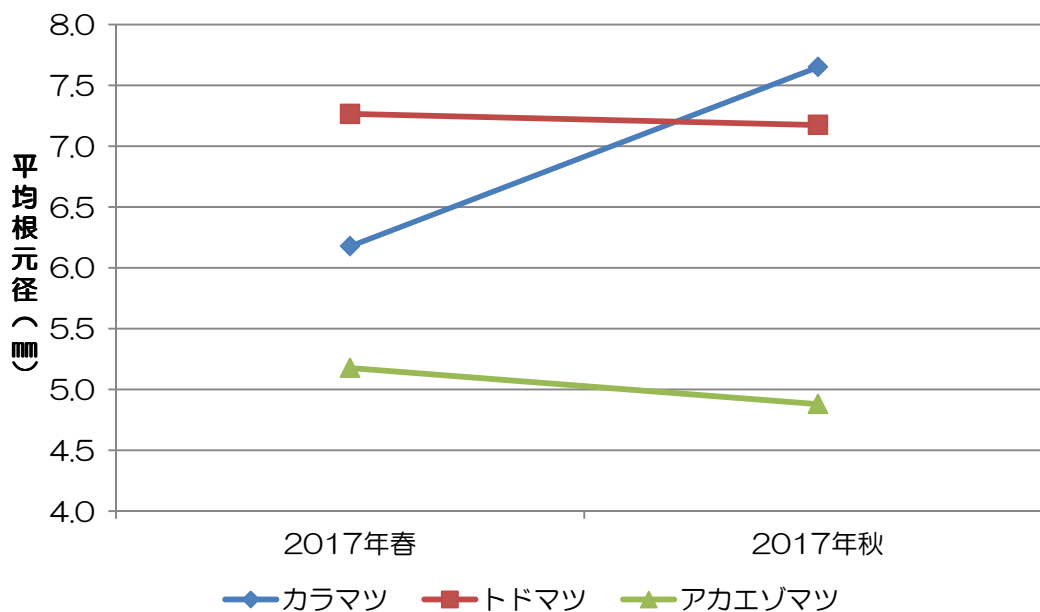


図2 樹種別 平均根元径の推移

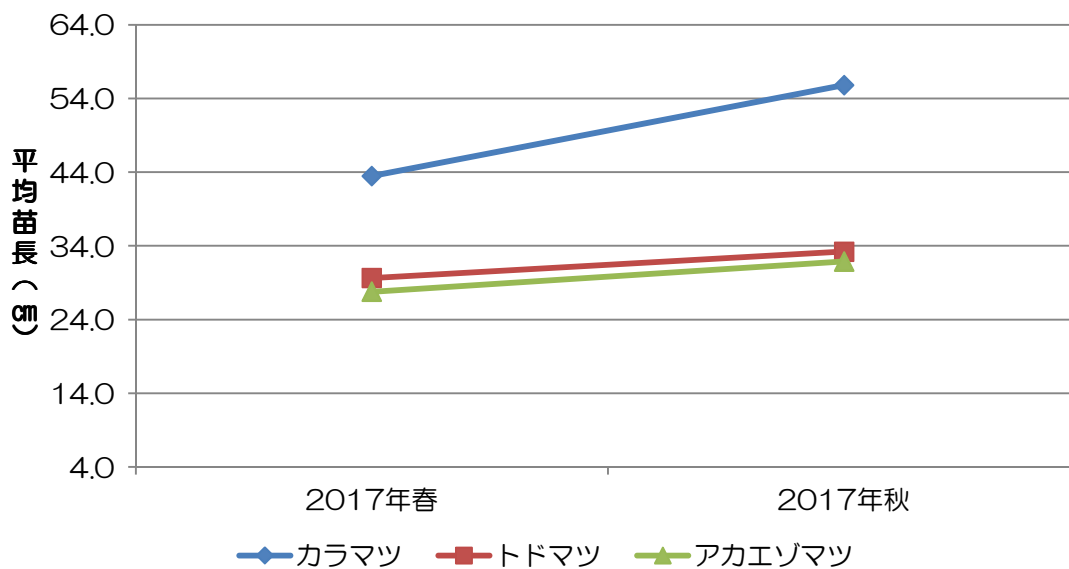


図3 樹種別 平均苗長の推移

カラマツについては、根元径及び苗長の成長量が大きかった一方で、トドマツおよびアカエゾマツは成長量が小さかった。樹種の違いによる影響が大きいと考えられるが、トドマツおよびアカエゾマツについては、下刈期間を長期に設定する必要があり、誤伐のリスクが高まる事が予想される。